平成30年度福井県立嶺南東特別支援学校 学校関係者評価書

（問）・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。

（意見を聞いた方）
ＰＴＡ会長・ＰＴＡ副会長３名・就労継続支援A型事業所長　　計５名

（意見欄）

○学習指導

・適切な評価がなされている。改善策・向上策のとおりでよいと思われる。
・指導計画を作成し,保護者との連携を大切にした取り組みは、とても重要なポイントである。計画は一度作成すれば終わりではなく、児童生徒の成長や状態変化に応じて適切に変更していくものととらえているが、指導計画の進捗具合や指導方法の評価、また変更・更新の手順についてはどのように行われているのか、そのプロセスが最も重要だと思われる。
・繰り返しの学習は大切だが、同じプリント、同じやり方が続くことに疑問を感じる。
・個々に教えるポイントをしっかりと見つけて、上手に伝えていってほしい。
・パソコンを使った指導等も検討してほしい。

○生活指導

・適切な評価がなされている。改善策・向上策のとおりでよいと思われる。
・いじめがあるかないかはなかなか見つけにくいと思うが、児童生徒が普段と違うなと少しでも感じたら、しっかり教師からサポートしてもらいたい。
いじめは本人の受け止め方により展開が変わっていくので、「改善策・向上策」にあるように問題を正しく把握すること、速やかに対応することが肝要だと思う。
・言葉でコミュニケーションがとれる子どもが、話す内容が正しくても、他人に対して上から目線の口調で話しているのを耳にする。それを聞いた子どもは「いじめ」と感じないだろうか。言葉でコミュニケーションをとれる子どもは、それを「いじめ」として伝えることができるだろうが、それができない子どもの場合は誰にも伝えることができないままなのではないか。先生方が子どもたちに話しかける言葉や友達同士話している言葉遣いに気をつけていただきたい。
・ソーシャルスキルの勉強のために、全校で挨拶運動をしてみたらどうか。

○進路指導

・適切な評価がなされている。改善策・向上策のとおりでよいと思われる。
・進路状況や施設の紹介など、小学部などの早期から進路を意識してほしい。情報発信は紙媒体だけではなく、研修会等を通して言葉で伝えることも大事である。
・進路において、保護者に温度差があるのは仕方がないが、教員にはもう少し状況等を理解しておいてもらいたい。卒業後行くところがない状況を知らない教員がいるのが残念である。
・校内での指導と企業等での実習などの機会を大切にしていると感じている。本人の思いや保護者の考えを客観的に判断していくことが、着実なステップアップにつながると考える。
・もし進路が急に変更になり、それにより生徒がとまどわないように、企業先からの情報をしっかり得て、動いていってほしい。

○保健･安全管理

・適切な評価がなされている。改善策・向上策のとおりでよいと思われる。
・避難訓練の実施がなかなかできないので、早々に実施できるように学校側、保護者側と話し合いの場を設けて実現できればと思う。それが年１回でもいいので、定着できるとよい。
・手洗いという衛生上の基本的な行為は、清潔な状態を保つことでもあり、仕事面でも重要な意味を持つ。体調管理も社会人の大切な一面なので、継続した取り組みをしていただきたい。
・有事の際の行動と共に、通常時の危険回避も地域生活の上では大切である。例えば道路の端を歩くなど、初歩的なことであるがお願いしたい。
・不審者への対応や登下校時の安全確認はどうか。高等部の生徒が部活後ひとりで玄関から出て下校していくが、見送りは必要ではないか。
・備蓄品（食品）のことが気になっている。今のままで大丈夫か。

○庶務・交流活動

・適切な評価がなされている。改善策・向上策のとおりでよいと思われる。
・保護者のＰＴＡ活動への参加が少なすぎる問題は今後どのようにしていくのか。ＰＴＡ活動は保護者同士のつながりが持てる大切な場である。働く人も増え、活動の見直しは必要だと思う。ＰＴＡ活動を通じて得られることもたくさんあるので、今後ももっとＰＴＡ活動が活発化していけるよう働きかけていってほしい。ＰＴＡ活動は保護者と先生方が一緒に活動するものだと思う。
・交流は普段なかなかできない体験をする場であり、貴重な時間だと思う。児童生徒の印象深く記憶に残る可能性もあり、支援者にとっても新たな一面に気づくことができる機会であると思う。

○研究･研修

・適切な評価がなされている。改善策・向上策のとおりでよいと思われる。
・今後も研究会や研修会に積極的に参加してもらい、学校発展のためにがんばってもらいたい。
・支援計画に将来望む姿というのが一番に掲げられているが、学部が上がった時に求められる力の確実な定着を図ってほしいと思う。
・専門性を高める研修といっても、個々に違ってきて同じという障害はないように思うので、特化して研修していくのも難しいと感じるが、学校内だけではなく県外での各支援学校での専門研修をどうしているのか調べてみてもいいと思う。

○教育相談

・適切な評価がなされている。改善策・向上策のとおりでよいと思われる。
・アンケート結果からもすばらしい体制だと思う。安心が信頼につながると考えているので、継続していただきたい。
・個別の教育支援計画の支援シートでしっかりと内容把握ができていいと思うので、今後も継続してお願いしたい。
・学部だけでなく、学校全体で共通理解をしていただきたい。

○情報管理

・適切な評価がなされている。改善策・向上策のとおりでよいと思われる。
・情報管理は徹底してやってもらいたい。情報等が外部に漏れないように細心の注意を払いつつ、管理していってもらいたい。
・ＨＰの活用（閲覧人数や更新等）はどうなっているか。ＨＰの画面が小さすぎて見づらい。
昨年は高等部での製品の製作過程を公開するなどの意見が出ていたが、どうなったか。

○寄宿舎指導

・適切な評価がなされている。改善策・向上策のとおりでよいと思われる。
・集団生活におけるコミュニケーション力をさらに磨き、社会人になってからの生活に対応できるよう指導にあたってほしい。
・日常生活の自立については、日頃から保護者への意識付けも必要と思われる。
・利用できる児童生徒が増えるといいなと思う。
・寄宿舎での生活は、将来において本人なりの生活を築く上で貴重な経験と考える。なぜなら、ルールのある中で、自ら考えて行動することは今後の生活で必ず生きてくると思うからである。弊社に所属する社員さんは自宅から通勤しているが、寄宿舎等の生活経験がある方の方が身辺処理がきちんとできているように感じている。そしてこのことは地域で生活する上でもっとも重要な要素の一つであると考えている。

○全体

・改善策をしっかり出して取り組んでいってほしい。問題が発生したら、早期対応できるように学校全体で協力していってほしい。
・朝、玄関で児童生徒を出迎えてくれているが、学部の違う児童生徒にあいさつ（話しかけ）をしている姿をあまり見かけない。学校全体で子どもたちを見守り指導していただきたい。先生方が部として活動しているのは理解しているが、連携していただきたい。
・学習、技能的な問題は個人でそれぞれ違うので、同一に指導できないが、生活する上でのことは全員同じことだと思うので、身辺自立にむけての基本を毎日することによって習慣づけになると思う。とかく、障がいがあると言っては甘やかされている部分もあるので、社会に出たときには生活マナーは必ず大事になると思う。
・先生方にはいつも熱心にご指導いただき感謝している。これからもよろしくお願いします。
・先生方の人数、保護者の方々の人数を考えると、成果達成率の数字が非常に高い水準にあり、一丸となった取り組みの結果と感じている。

（学校関係者評価を踏まえた今後について）

・各項目の具体的取組について目標指標をほぼ達成している点に関して高い評価を得たが、反省や改善を促す意見や評価に対しては謙虚に受け止め、具体的に改善策を検討する。
・いじめ問題への対応としては、児童生徒の小さな変化に対しても教員間の連絡を密にすることで現在も早期発見に努めているが、今後はけんかやふざけあいもいじめの芽としてとらえ、速やかな状況把握および事案対処に努める。
・学部や校務分掌において、教員の視点が自分の領域中心に向けられていて全体を見ていないというような指摘を踏まえ、各学部や校務分掌の連携や協力体制について検討する。
・PTA 活動に関して全教職員が理解を深め、活動や参加についても庶務交流部を中心に再考する。

・各項目の具体的取組について目標指標をほぼ達成している点に関して高い評価を得たが、例え数値は低くとも批判的な意見や評価に対しては謙虚に耳を傾け具体的に改善策を検討する。防犯や衛生指導、情報管理に関して指摘された具体的課題についても早急に改善に努める。
・学部や校務分掌によって保護者との意思疎通に濃淡が生じているとの指摘を踏まえ、学校全体で共通して改善すべき点を明確にするとともに、各部署の独自の取組や支援のあり方については丁寧に説明責任を果たす。
・保護者や地域の関係機関からの学校に対する信頼をさらに深めるために「時間や手間は必要だが、会うことを大切にしてほしい」という助言に従い人と人のふれあいを大切にした情報発信を図る。

・平成２６年度の「学校評価書」の成果と課題から出てきた「改善策・向上策」をもとにして取り組んでいきたい。
　さらに学校関係者の指摘もしっかり踏まえて、特に次の点にも留意する。
・研究･研修で得た有効な情報を保護者に迅速に伝える。
・PTA 活動に関して全教職員が理解を深め、活動や参加についても庶務交流部を中心に再考する。
・保護者への広報も引き続きしっかり行っていく。

・基本的には平成２５年度の「学校評価書」の成果と課題から出てきた「改善策・向上策」をもとにして取り組んでいきたい。
　さらに学校関係者の指摘もしっかり踏まえて、特に次の点にも留意する。
・研究･研修で得た情報で保護者に有効な事柄は迅速に伝える。
・PTA 活動に関して全教職員が理解を深め、活動や参加についても庶務交流部を中心に再考する。
　保護者への広報も引き続きしっかり行っていく。